

SAKUYO GAKUEN NEWS

作陽学園報

くらしき作陽大学／作陽音楽短期大学／岡山県作陽高等学校



音楽最高顧問 池辺晋一郎 特任教授による特別講義が行われました。

平成25年10月1日
於：くらしき作陽大学
藤花楽堂



■第17回翔陽祭、作陽キッズ
キャンパス2013開催……2頁

■「菩薩の道が地球を救う」……3頁
学校法人作陽学園
理事長 松田英毅

■「碎啄の機(そつたくのき)」……4頁
音楽学部 音楽学科長
新名俊樹

■「新設の「フードコーディネーター」
では、安全で豊かな食環境を創造するた
めのスキルが修得できます」……5頁
食文化学部 現代食文化学科長
額田真喜子

■「管理栄養士養成課程の役割」……5頁
食文化学部 栄養学科長
大野貴司

■「学生の育つ条件」……6頁
子ども教育学部
子ども教育学科長 林 直人

■「大学院音楽研究科から」……7頁
くらしき作陽大学大学院
音楽研究科長 竹内京子

■「演奏会のご案内」……7頁
作陽音楽短期大学
音楽学科長 丹代 茂

■「岡山県作陽高等学校」
……8～10頁

■「心豊かで逞しい子ども達と
共に前に向かって」……11頁
くらしき作陽大学附属幼稚園
副園長 妹島三絵

■鶴声会だより・習会だより・
高校同窓会・在学生の声
……12～13頁

■入試広報室NEWS
……14頁

■演奏会のご案内……15頁

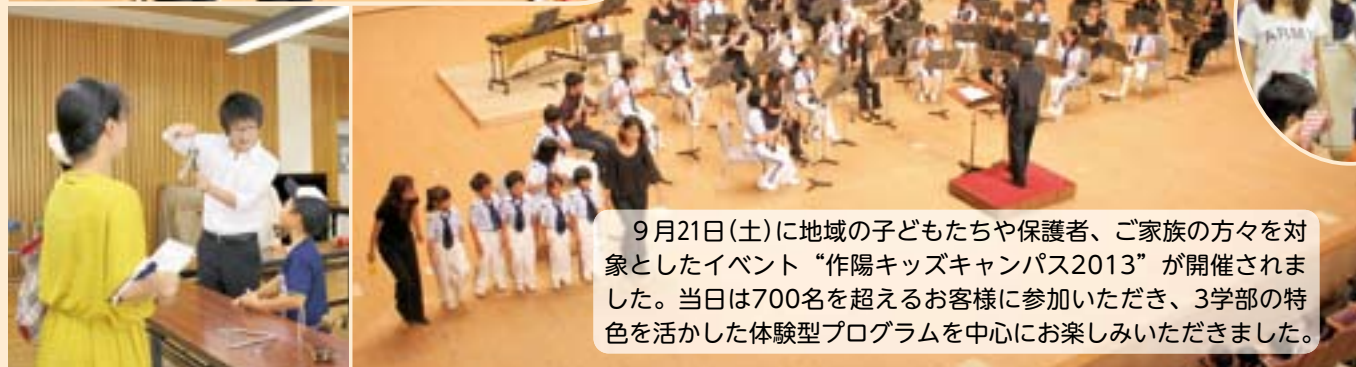


“第17回 翔陽祭” 開催!

10月12日(土)～14日(祝月)の3日間で開催した“第17回翔陽祭”のテーマは「1 Sec. ～1秒もゆずれない～」。長いようで短い3日間を、1秒だってゆずれない! ゆずりたくない!! と思えるほど全力で楽しみたいという翔陽祭実行委員の熱い思いが込められたテーマで、模擬店や多彩なステージイベントなどを通じ、学生や翔陽祭にお越しいただいた皆さまにお楽しみいただきました。



“作陽キッズキャンパス2013”開催!



9月21日(土)に地域の子もたちや保護者、ご家族の方々を対象としたイベント“作陽キッズキャンパス2013”が開催されました。当日は700名を超えるお客様に参加いただき、3学部の特徴を活かした体験型プログラムを中心にお楽しみいただきました。



菩薩の道が地球を救う

理事長
まつ だ ひで き
松 田 英 毅

先日、宇宙飛行士の若田光一さんが宇宙へ飛び立ったニュースがテレビや新聞に報道されました。その時写された漆黒の宇宙にうかぶ青と白に輝く地球を見て感動した人は多いと思います。地球を画用紙にソフトボール大に描くと、その球を書いた鉛筆の線の幅が青くみせる大気層の厚さです。地球を覆う薄い膜が地球のすべての生き物を生かし続けている大気なのです。

大気的主要成分は窒素、酸素、炭酸ガス、水蒸気であり、生き物にとってなくてはならないものです。地球ができて46億年、生物が発生して30億年、人間という種が生まれ500万年といわれています。30億年の間途絶えることなく生命が地球上に続いてきたのは、この大気が存在したからといえます。多種多様な生命体を育み続けることができた要因の一つに地球という惑星の太陽からの距離があります。地球が今より少し内側の軌道に生じていたら水星や金星のように焦熱地獄であったでしょうし、少し外側の軌道であったなら、火星のように水は氷になってしまったでしょう。地球は、幸いに水と海洋が存在するのに程よい距離にあり、水の惑星として存在することができたために、生命が誕生し、今日迄生存し続けることができたのです。

更に大気は、宇宙からの有害な宇宙線やイン石や宇宙塵の侵入を防ぎ生物を守っていますし、オゾン層を形成して生物に有害な紫外線を遮断しているのです。悠久な時間とともに発達した人類は、科学技術文明を築き、便利で快適な生活のできる社会を構築しました。しかしながら、近年、大気中のオゾン層が破壊され、紫外線の量が増加し、人体への影響が心配されています。また、大気中の炭酸ガスの濃度の上昇で地球規模で温暖化が進行し、異常気象が世界各地で生じています。二年前の東日本大震災で生じた福島第一原発事故による放射能の拡散は、美しい自然環境を汚染し続け世界中を不安に陥れています。このように全ての生きものが、いきいきと生き続けることができた自然環境が無くなりつつあるのです。この自然環境破壊を止め、未来の生き物たちが、昔のように豊かな自然の中で生きていけるようにするのは、現代の私たち人類に課された使命であると思います。西洋科学技術文明が今日の発達した文明を築きましたが、この文明は、地球上の全ての生きものを育ててきた大気を破壊し汚染するものを孕んでいたともいえます。

その西洋科学技術文明は、ニーチェが言ったように神を殺すことで発展してきたのであり、人間の傲慢が根底にあるといえます。自然の摂理を拒否する考えを根本より変えない限り、破壊を止めることも汚染を防ぐこともできないであります。

仏教に現代文明の闇を照らす糸口があると思われます。何故なら仏教は宇宙の法則、自然の摂理に沿った生き方を説いた教えだからです。「山川草木悉皆成仏」や「一切衆生悉有^{ぶつしやう}仏性」にその精神を見ることができます。人間は特別なものではないのです。生命のないものまで仏になるとしてありますし、生きとし生けるものはすべて平等であり仏性をもつとしてあります。

私たちは、自分の力で生きています。両親はじめまわりの人に世話になっているとは思いますが、本当にそれらの人々に生かされて生きているとまでは思いがおよびません。ましてや動物や虫や草木に生かされていると思っているのでしょうか。それらに無関心で生きているのが本当の姿でしょう。無機物についてはいわずもがなであります。

人はだれでも始めは粟粒程の単細胞に生命が吹きこまれ、約3兆個の細胞となりこの世に誕生し、大人では50兆ほどの細胞で身体が出来ています。それはすべて食物から得たものであり、食物は植物や動物や虫が造りあげたものでありました。その肉体は大気中の酸素を吸収し炭酸ガスを出し、これらのガスは、人と大気と植物の間で循環をしています。身体を構成している物質は大変な勢いで入れかわっており、身体と地球の間で交換が行われているのです。

これらのことから「山川草木悉皆成仏」「一切衆生悉有^{いっさいしやうしやう}仏性」の思想こそ大切で、神を殺すことは傲慢この上ないことであるといえます。この傲慢を除き、生きとし生けるものと共に生きることが自然の摂理に合った生き方であり、これを菩薩道といいます。この菩薩道こそが生物のための自然環境を保持し、漆黒の宇宙の中で地球をいつまでも青く輝かせることになると思います。その基本が本学園の教育の実践目標に掲げている挨拶、掃除、合掌であります。挨拶、掃除、合掌は大きな働きをする基本であり、それだけに簡単なようでも身につにくいものです。本学園に学ぶ人は一人残らず実践し、菩薩道を歩み、青く輝く地球のために精進して欲しいものです。

啐啄の機（そつたくのき）

音楽学部
音楽学科長
新名 俊樹



本年度より音楽学部音楽学科長を拝命しました新名俊樹と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

作陽音楽大学からの歴史と伝統を受け継ぐ音楽学部は、時代のニーズに応えた1学科3コース13専修に生まれ変わりました。同時に進路に対する目標を明確にするために4つのスタディープランを作成しました。

ちょうどこれらはマトリックス（行列）の関係にあります。

先ず横軸（行）として、音楽教育における世界的権威を持つモスクワ音楽院の教授陣による直接指導が受けられる「モスクワ音楽院特別演奏コース」、マンツーマンのレッスンで技術を磨き演奏家や指導者を目指す「演奏芸術コース」、免許・資格を取得し現場が求める音楽教員や専門家を目指す「教育文化コース」の3コースがあり、その中にそれぞれの専修を再配置しました。

次に縦軸（列）として、中学校や高等学校教諭を目指す「教員採用試験突破プラン」、楽器店や音楽教室講師を目指す「指導者養成プラン」、大学院進学や留学を目指す、あるいは演奏家や楽団員を目指す「進学・演奏プラン」、音楽関連企業や音楽隊への就職を目指す「企業・公務員就職プラン」の4つのスタディープランがあり、それぞれに推奨するカリキュラムを再配置しました。

この横軸と縦軸が織りなす基盤（マトリックス）が、あたかも機織りの如く、きめ細かいクロスを作り、学生を育てる下地となります。

その下地のうえで、短期大学を含めた全ての教員が専門性を活かし「進路アドバイザー」として進路支援室と協力しながら、1年次より全ての学生の進路選択をサポートする体制を作りました。

才能の花を開こうとする弟子と、それを見抜いて引き上げる師、この両者の意識が高まりあった時にこそ、全てが上手くいきます。

その絶妙のタイミングを、雛が卵から孵化する時、雛が内からつつく頃合いに母鳥が外からつつく様から「啐啄の機（そつたくのき）」といい、転じて理想の教育機会の比喩として使われます。

今は多様な学生を受け入れ、育てていく時代です。そのためにも1学科に集約し、臨機応変に学生を支援していくことが出来るシステムを作る必要がありました。

短期大学から大学院への進学を含めると「2・4・6年間」、それぞれの専攻科への進学も含めると「2・3・4・5・6年間」の学修スタイルが考えられます。

また入学当初は漠然と楽器店講師になりたいと言っていたが、現役で教諭として採用された先輩からのメッセージに強い刺激を受け、中学校時代からの夢であった音楽教員を本気で目指したいと進路変更を希望してくる学生もいます。

正にこの「夢をかなえたい」という気持ちが大きな原動力となり、そのタイミングから真の学修意欲が湧き出てきます。

決して楽な道ではありません。ですが学生の夢をかなえてあげたい、そして作陽に進学して良かったと思えるようにしてあげたい、私達の喜びは学生達と共に苦勞をする喜びです。

「念願は人格を決定す、継続は力なり」

音楽と共に生きるあなたの夢をかなえます。

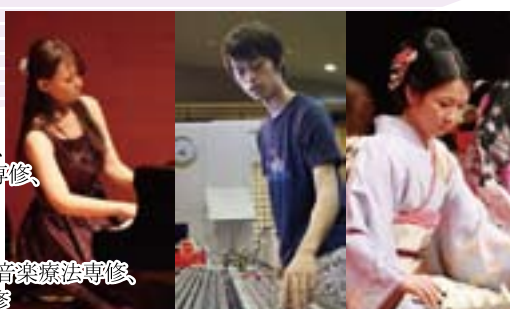
1学科3コース制の導入により自分の音楽をより高い次元に。

モスクワ音楽院の教授陣の指導が受けられる「モスクワ音楽院特別演奏コース」、演奏技術を高める「演奏芸術コース」、教育者や専門家を目指す「教育文化コース」で構成。コースおよび専修の垣根を越えて、興味のある音楽を学べる体制を導入。

● モスクワ音楽院特別演奏コース
ピアノ、ヴァイオリン

● 演奏芸術コース
ピアノ専修（オルガン専修を含む）、声楽専修、
管楽器・打楽器専修（吹奏楽指導専修を含む）、
弦楽器専修（ハープ専修を含む）、電子音楽専修、
作曲・指揮専修、邦楽（箏曲）専修

● 教育文化コース
音楽教育（ピアノ、声楽、管・打・弦）専修、音楽療法専修、
音楽デザイン専修、アートマネジメント専修



教員採用試験
（中学校・高校）
突破プラン

指導者養成
プラン

目標への最短距離を見つける
スタディープラン

進学・演奏
プラン

企業・公務員
就職プラン

新設の「フードコーディネーターコース」では、安全で豊かな食環境を創造するためのスキルが修得できます

食文化学部
現代食文化学科長
額田真喜子



現代食文化学科は、「食と健康コース」と「フードコーディネーターコース」の2コースを設け、新たな学科として出発して3年目を迎えます。

新設の「フードコーディネーターコース」は、食品の生産から流通・販売・加工・開発・調理・消費までに関わる幅広い技術と専門知識を持って、総合的に「食」をコーディネートできるフードコーディネーターを育成します。メニュー開発、テーブルセッティング、インテリア・食器のデザイン、店舗設計などの食空間の演出やTV、CM、雑誌等での料理の提

案からセッティングや撮影時の演出、食品企業等での商品開発など幅広いニーズに応え、安全で豊かな食環境を創造するのがフードコーディネーターの仕事です。専門知識はもとより、「感性」「探究心」「行動力」「多彩な経験」「技術力」が不可欠です。そのため、第一線で活躍しているフードクリエーターが直接指導に当たっています。また、実践経験や異文化体験のカリキュラムとして学外実践研修（国内、海外）があります。今年度は、3年生が国内企業やアメリカ研修を行い、ひとまわり大きくなって帰ってきました。

一方の「食と健康コース」では、従来の「食」を通じて人々の健康保持・増進に関わる栄養士養成に加えて、幅広い進路の選択がしやすいカリキュラムに再編しました。栄養士免許に加え家庭科の教員免許や栄養教諭の免許を取得し教諭として活躍する人や、保育園の栄養士として子供達の食育を担う卒業生が増えていて頼もしい限りです。そして栄養士の質保証として全国統一試験である「栄養士実力認定試験」のA認定の取得を課しています。今春卒業者は、全員がA認定を取得し自信をもって社会へ巣立って行きました。また、両コースとも調理技術向上のための検定試験や各種資格さらにはWスクールによる資格取得も可能ですので、各自が希望進路（念願）に向けて着実に前進しており、私たち教員も全力で支援しています。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

管理栄養士養成課程の役割

食文化学部
栄養学科長
大野 貴司



くらしき作陽大学食文化学部栄養学科の教育目標は食を通して健全な未来社会を築くために貢献できる人間性豊かな管理栄養士を養成することです。管理栄養士は健康人のみではなく傷病者の栄養指導を行う、スポーツ選手の栄養指導など高度な専門的知識及び技術を要する栄養指導を行う、老健施設など多くの給食を供する施設の給食管理・栄養指導を行うなどの業務があります。特に傷病者の栄養指導を行う点は管理栄養士の重要な使命のひとつであり、管理栄養士養成課程では栄養学の知識に加え、人体の構造・機能や疾患についての豊富な知識を修得するための専門教育が要求されます。栄養士課程卒業の場合は履修した課程により指定された期間、

栄養士としての実務経験を積むことが管理栄養士国家受験に必要ですが、管理栄養士養成課程である本学栄養学科では卒業と同時に国家試験の受験資格が得られ、国家試験に合格すると実務経験なしで管理栄養士資格を取得できます。つまり4年間で国家試験に合格し、管理栄養士として第一歩を踏み出せる人材を育成することが管理栄養士養成課程には要求されることになります。

平成12年に栄養士法が改正され管理栄養士免許が登録資格から免許資格に変更されました。改正時期の前後に全国の管理栄養士養成施設の申請が増加し30施設程度であったものが、平成24年時点で131施設に増加しており、年々社会のニーズが管理栄養士に向けられていることを示しています。都道府県別に管理栄養士養成施設数をみると、東京都16、愛知県12、大阪府10、兵庫県8に続き岡山県には7施設があります。7施設のうち6施設は私立大学であり、岡山県は入学者を充足するうえではかなり競争の厳しい地域です。栄養士と管理栄養士の専門領域の区分、社会的な待遇などに関してはまだまだ多くの意見があるところですが、管理栄養士養成課程の使命は指導的立場に立ち活躍できる、優秀な管理栄養士を輩出し、その社会的地位、役割を発展させることです。栄養学科では、本学の学是“念願は人格を決定す、継続は力なり”を指導理念として、学生生活をトータルにサポートし、学生の入学時の夢である管理栄養士国家試験合格に向け、一人ひとりに応じた学習指導を行い卒業生全員の合格を目標に熱意をもって指導しています。

学 生 の 育 つ 条 件

子ども教育学部
子ども教育学科長
はやし 直人



今、4年生は就職活動が中盤から終盤に入り、慌たしさと落ち着きとを合わせたような複雑な雰囲気を醸し出しています。しかし、その様子を見てみると、ずいぶん「社会人の顔になってきたなあ」と思うことがよくあります。そこで、学生は何によって成長するのだろうか、4年間の育ちについて考えてみたいと思います。

まず、頭に浮かぶのは何と言ってもカリキュラムです。その中でも代表的なものとして教育実習が挙げられます。保育所実習は2年生で、幼稚園及び小学校実習は3年生で、特別支援学校の実習は4年生で学修するようにカリキュラム化されています。実習が終わると必ず報告会がもたれますが、10月には幼稚園実習の報告会がありました。そこでは「子どものやっていることに共鳴し、心の振動を強くする工夫を重ねる大切さがわかりました」「危機管理の観点では、特に幼児の行動を予測することが重要であることがわかりました」「幼児は教師の教える技術よりも一生懸命自分たちに関わってくれようとする姿勢（積極性）を見ているのではないかと思います」など、教育の本質をとらえたものが数多く発表され、報告を聞く方もわくわくしました。まさに経験を通して

追究し続ける努力の中で資質能力は向上するものだということを実感しました。

次に、教育支援ボランティアが挙げられます。学生の多くは、実習後に、まとまった空き時間があれば保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校にボランティアに入らせてもらっています。学生の立場もお客様から準スタッフに近くなるので、教育実習では見えていなかったものが見えてくるようです。学生はそこで新たなことを感知し、教訓や先生方の行動の意味をつかんでいるようです。

このように現場の空気に触れることは効果的であるとの確信がもてたので、今年度は1年生に「夏ボラ」を斡旋し、有志に経験してもらいました。教師を志す高い意識を持っているからかもしれませんが、終了後は異口同音に教師の魅力と自分の足らずを口にし、これからの目標をもってくれました。さらに、うれしいことにお世話になった学校長、教育委員会関係者から子どもたちと向き合う学生の姿を見て、その資質のよさを褒めていただきました。

他には、部活動や地域でのボランティア、アルバイト等も成長を後押ししているように思います。ここでは特に人間関係を構築する力の育ちが見て取れます。教師という職業が個業で成り立つ時代は終わり、今は協働による組織的指導が求められており、人間関係を構築する力は必要不可欠です。また、この力は子どもや保護者に寄り添いながら様々なニーズに応え、抱える問題の解決を図る上でも特に重要です。

紙面の都合で3点しか述べる事が出来ませんでしたが、カリキュラムを縦糸、部活動、ボランティア活動、アルバイト等を横糸、そして、その中で染いた人との関係を斜めの糸と考えると、4年間で強く、しなやかで、丈夫なものに仕上がっていることが容易に想像できます。それが、就職活動という試練によってさらに磨き上げられ、その育ちの中に「社会人の顔」を私は見たのではないかと思います。

4年間の実習カリキュラム

学 年	1		2		3		4	
期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
子ども教育力の養成段階	基盤形成期		実践力基礎期		実践力形成期		実践力充実期	

小学校・特別支援学校コース

	ねらい	教育への意欲の向上をはかる	教育の技能を高める	教育の現場で力を磨く	教育観を育てる	
	実習	大学で学ぶ・現場で学ぶ			現場で学ぶ・大学で学ぶ	
		自主実習・教育支援ボランティア			小学校教育実習	特別支援学校教育実習

保育園・幼稚園コース

	ねらい	保育への意欲の向上をはかる		保育現場を知る		保育技能を高める		保育観を育てる	
	実習	大学で学ぶ・現場で学ぶ				現場で学ぶ・大学で学ぶ			
		自主実習(附属幼稚園)		施設実習	保育所実習	自主実習	幼稚園教育実習	自主実習・教育支援ボランティア	

大学院音楽研究科から

大学院
音楽研究科長
たけうち きょうこ
竹内京子



みなさま、師走に入り、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

今回は、大学院音楽研究科からうれしいお知らせがあります。10月14日に日本大学藝術学部音楽ホールで開催された「第18回 国際ピアノデュオコンクール」本選（主催：国際ピアノデュオ協会）において、大学院音楽研究科を平成23年度に修了され、子ども教育学部でピアノを指導する片山 美希さんと大学院音楽研究科1年の片山 舜さんが、審査員特別賞およびカワイ賞を受賞されました。片山さんは姉弟で、

『ベラ・ルーチェ』というピアノデュオを結成し、これまでも多くのコンクールで輝かしい成績を収めてられました。今後は二人でソロ、デュオを織り交ぜたりサイタルを計画しておられ、ますますの活躍が期待されます。

また、8月5日に本学3号館聖徳殿で開催いたしました毎夏恒例の『大学院サマーコンサート』は、倉敷西ライオンズクラブの依頼により、今年は8月11日にも玉島市民交流センター湊ホール（昨年オープン）出張公演として再演され、好評を博しました。

今年度のハーフリサイタル（1年生）は、2014年2月14日、修了演奏会（2年生）は、2月21日に予定しております。温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成24年度大学院修了演奏会

「演奏会のご案内」

作陽音楽短期大学
音楽学科長
たん だい しげる
丹代 茂



近年、今年は異常な天気だったね！と毎年言ってきましたが、今年は異常中の異常で、猛暑や豪雨で大変な思いをされた方が大勢おられるのではないかと心配しております。

さて、短期大学では、特に大きな出来事もなく前期を終了し、無事に後期を迎えております。また、後期に入りますと「芸術の秋」とばかりに、演奏会たけなわで、出演する学生たちは日々忙しくしております。

今年も行なわれます短期大学吹奏楽演奏会は管・打楽器専生だけでなく、中・高校時代に吹奏楽をしていた学生も含めての演奏会で、音楽短期大学としてオーケストラをもつことは理想ではありますが、楽器編成上できなくても吹奏楽ならできる。ということからできた演奏会で、今では短期大学の最も大きいイベントの一つで、今年で5年目になります。メインプログラムには必ずオーケストラの曲を演奏することとして、今年は上甲廣文教授の指揮で、シベリウス作曲：フィンランディア、その他名曲を取り揃えての演奏を予定しています。

是非大学にお出でいただき、出演する学生に励ましの声等をかけていただければ幸いです。

2014年2月16日（日）〈開演〉14:00

作陽音楽短期大学 吹奏楽演奏会

- G. ホルスト／吹奏楽のための第二組曲、シベリウス／フィンランディア 他
- 会場：藤花楽堂 ■入場料：無料



2013年 作陽音楽短期大学 吹奏楽演奏会

Revolution[改革] & Development[発展]

社会を正しく生き抜くことができる真の人間力の育成



岡山県作陽高等学校

★ 全国に通用する教育内容とカリキュラムで、進路保障100%を具現化する、“智慧の教育”実践校 ★

校長

快感原則と現実原則

校長 まつの ひでお
松野 英雄

電車の中で子供が大声で動き回ったり、座席に靴で上がるなど、したい放題に振る舞い、周囲の人々に迷惑をかけている。しかし、母親は、皆が顔をしかめているのに、平然として雑誌を読んでいる。こうした状況を見かねて子供に注意すると、逆に母親は、余計なお世話とばかりに、その人を睨みつけたり無視をする。残念ながら、時にこうした光景に出くわすことがあります。これは、日常生活において地域社会との結びつきを失い、自分さえ良ければという風潮が強くなった現れの一つではないでしょうか。

精神分析学者のフロイトは、人間の心を支配する精神現象として「快感原則と現実原則」があると提唱しています。

一例を挙げると、乳児は「快感原則」を持っているから、空腹になると乳を求めて泣き、満腹になると泣き止みます。しかし、人間が成長する過程において全てがこの調子で良いのかというと、周囲の事情によっては我慢しなければならないことも当然あります。人間は、こうした経験から「快感原則」を「現実原則」によって修正することを学び、成長していくものと述べています。

自己主張は必要であるし、自己決定権は保障されるべきです。しかし、皆がそれを押し通せば、社会はルールのない闘争の場になってしまいます。「周囲の迷惑になるから、騒ぎたくても今は静かにしよう」と子供に教えるのは、大人の責任であるはずですが。…とは言っても、我慢を要求されて子供が喜ぶはずはありませんし、誰だって嫌われたくないから、叱らずにいたいと考えます。

また、近年では、「子供の意思を尊重せよ、叱らずに誉めよ」との教育論が主流となり、大人が敢えて子供たちを叱らなくなっていました。こうして子供たちは、社会生活を正常に営むために必要な、原理・原則を学ぶ機会を失ってしまっている、私は感じています。

現代社会において、自分が評価されない、親や上司が相談に乗ってくれない、などの理由で無関係な人たちを殺傷するという痛ましい事件が残念ながら続発しています。

こうした現実の前には、授業が始まっても着席せずに騒ぐ高校生や、講義中も私語を止めない大学生が存在することなどは、たいした問題ではないと思われるかもしれませんが、そこには「快感原則」のままに行動しようとする人間的な未熟さを感じられるはずです。

私たちが両親や先生方から、生活態度や言葉使いなどについて口うるさく注意されました。このことは、「現実原則」を実践できる品格のある人間として育てて欲しい、との強い願いが込められていたんだと、改めて感謝している次第です。



普通科

- スーパー特進コース(文系・理系選択)
- 特別進学コース(文系・理系選択)
- 総合進学コース(進学系・ビジネス系・保育系・福祉系)
- 体育コース(柔道・硬式野球・ゴルフ)
- 総合音楽コース(音楽デザイン系・吹奏楽系・音楽実技系)

祝

柔道部

2年ぶり2回目快挙！
全国大会準優勝 祝賀会



2013年9月28日(土) 津山国際ホテルにおいて、全国準優勝の祝賀会が開催されました。学園からは理事長先生をはじめ、多数の先生方に御参加頂きました。又、津山市長や国会議員の先生方、各方面の柔道関係者の方など

にも御参加頂き、盛大な会となりました。今回のチームは例年に比べ、戦力的にダウンしており、チーム作りが非常に困難を極めました。外部からも「今年は厳しいのでは？」との評価でした。そのチームが1年後に全国の決勝まで上がることが出来ました。準決勝では、2年前決勝戦で苦杯を嘗めた強豪国士館に奇跡の逆転勝ちしました。私は改めて、子ども達を信じ続けることの大切さを教えられました。本校柔道部にとって2年ぶり2度目の準優勝となり、全国4800校の中で、この3年間に2度決勝の舞台に上がったのは作陽だけです。あと1つ夢の階段を這い上がり、日本で一番高い場所に子ども達と共に登りつめたいと思っておりますので、ご指導、応援をよろしくお願いいたします。

祝

サッカー部

3年 平岡 翼君
“FC東京”加入が決定



平成25年11月27日(水) 13:30～
本校の会議室で、平岡翼君の「FC東京」加入内定記者会見を行いました。「FC東京」からは、“将来性豊かなMF”として高い評価をいただいています。

<平岡翼君のProfile>

平成23年度 国民体育大会ベスト8
全国高校選手権大会出場
平成24年度 全国高校選手権大会 優秀選手
日本高校選抜
デュッセルドルフ国際ユース大会優勝
平成25年度 全国総体出場

祝

サッカー部

6年連続6回目
第22回全日本高校女子サッカー選手権大会出場



＝高校女子サッカー界の日本一を決める大会＝

第22回全日本高校女子サッカー選手権大会が、平成26年1月10日から16日まで磐田市で開催されます。作陽高校女子サッカー部は、6年連続6回目の出場を決めました。頂点目指してがんばります。TBSにてTV放映が予定されています。

皆様の応援をよろしくお願いいたします

教務

「変わりつつある作陽高校」

教頭 教務部長 かん だ ひさのり
神田 寿則

報恩の日



教室風景

作陽高校では真の人間力育成のため、全校的推進運動として「挨拶」「掃除」「合掌」に取り組んでいます。本校では多くの生徒が目的意識を持って入学してきており、それぞれの分野で頑張っています。特に体育部においてはインターハイで柔道部準優勝、女子サッカー部3位など地方都市の高校としては異例の活躍であり、また、本年度は男子サッカーで5名、ゴルフ男女各1名、柔道1名が日本代表として選ばれています。この事は部員のみならず、作陽高校全体として非常に喜ばしいことであり、生徒にプライドを持たせてくれています。また、進学においても自分の夢を叶えるため、毎日遅くまで頑張っています。その頑張りは必ずや成果となって出ることと思います。このように文武両道の成果を出してくれているのも、生徒や先生、それに保護者や地域の方々の応援があつてのことと感謝いたしています。自分の学校を誇れることは自分に対しても自信が湧き、また将来社会に出て前向きな生活が送れると確信しています。

しかし、残念ながら全員が「自利利他」の精神を身につけているかといえば、まだまだ問題点はたくさんあります。しかし、日々の学校生活の中、心身ともに成長し、作陽精神を持って社会の荒波に立ち向かって行けるよう、今後とも指導していくとともに我々教師も生徒とともに成長して行きたいと思っています。

また、今後よりよい作陽高校を目指し、改革を進めていくため、現在カリキュラム、行事等の見直しと、その根幹となるビジョン、コース、系について検討をしています。より社会のために奉仕できる優秀な人材の育成と生徒の思いを実現する高校として、今後とも邁進していきたいと思っています。

生活指導

「生徒の状況」

生活指導部長 むら かん だい すけ
村上 大介

校門 朝のあいさつ運動



朝の掃除

合掌

今年の夏は大変暑く、10月になっても連日30度を超すような日が続きましたが、台風27号の通過後は、上着を着ないと寒いくらいになってきました。今年は短い秋になり、冬がすぐにやってきそうです。そんな季節の中、生徒たちは何はともあれ大きな事故や事件もなく無事1年間の折り返しができていることに喜びを感じています。

生活指導部長を拝命して10年目になりますが、月曜日から土曜日まで毎朝校門に立ち既に2,000回以上「おはよう！」と校門に入って来る生徒と挨拶を交わして来たことになります。部長になり立てのころは、毎日指導の連続でしたが、生徒の態度も年々良くなり、それに比例して非行に走る生徒も減少傾向にあります。全校集会でも静かにするだけでなく人の話を真剣に聞くようになりました。

生活指導では現在、「挨拶・掃除・合掌」を通しての気づきの運動を進めています。一人の例外もなくということは難しいが、全員が出来るように頑張ろうとする姿勢が大事だと思います。生徒同士、教師同士、教師と生徒、多くの出会いの中でお互いに成長していき、教室に掲げている、「いきいきと生き、生かし生かされている私」という意味をもう一度よく考えさせていきたいと思っています。我々は決して一人で生きているのではなく、お互いに影響されながら生かされ、支え合って生きていることに感謝し、感謝できる自分を大切にしたいという意味を伝えることが人づくりであると考えます。

以上、生徒は全体的に落ち着いた状態で学校生活を送っています。挨拶・掃除・合掌については、今年度も生活指導の中心として「感謝」の心、「足るを知る」心が育つように指導していきたいと思っています。

合掌

進路指導

「進路指導に向けて」

進路指導部長 すぎもと てつや
杉本 哲也

春の進学合宿



夏の学力向上合宿

本年度より、進路指導部長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

さて、本校の生徒の進路志望状況はここ数年、約2割の生徒が就職、約8割の生徒が進学を志望で推移しています。生徒の志望動向に大きな変化がないなか、生徒を取り巻く環境はここ数年大きく変化しています。長期低迷していた日本経済にも上向きの景気動向が発表されるなど景気回復の兆しがみられるようになったとの報道もなされています。しかし、就職の観点から生徒を取り巻く環境、特に求人状況を見てもまだまだ厳しい状況があります。特に津山を中心とした県北地域での就職の確保はかなり厳しいものとなっています。また進学については、少子化のなか、大学・短大、専門学校ではさまざまな入試制度が導入されるなど層多様化しています。このようにめまぐるしく変化する社会の中で進路決定していく生徒に対し、個々の生徒の特性を生かし、生徒の希望する進路に向けて一人ひとりの思いを大切にとことん寄り添う丁寧な指導を心がけています。

生徒の将来の目標を実現するために、放課後補習の実施、英語検定・漢字検定など各種検定の対策講座、進路ガイダンスや夏季勉強合宿の実施など各コースの特性を生かした進路指導を実施しています。また、今年度は長年培ってきた経験をもとに生徒の特性に合わせた新たな取り組みや従来からの取り組みの見直しを行っています。生徒一人ひとりの夢を実現させるために現状に満足することなく、今後とも日々研鑽を積んでいきたいと思っています。

生徒会

「独創自主の精神で取り組む生徒会活動」

生徒会顧問

やまもと
山本

てつひろ
哲裕

今年度も作陽高校最大のイベントである清陵祭が9月8日(日)、12日(木)、に行われました。29回目となる今年度の清陵祭テーマは「清陵祭誰がする？オレらだろ!! 今こそ627人の作陽魂咲き誇れ!」で、生徒・教員・保護者が一体となり、清陵祭は大成功をおさめることができました。またこの熱い魂は作陽のみに留まらず、多くの人の力を借りて、ごんご祭り・商店街パレードなどを通して津山の街も巻き込み盛り上げていくことができました。今回は吹奏楽部商店街パレードと同時に柔道部全国準優勝パレードも行い、学校・地域でより一層結束を深めることができました。当日には保護者の皆様をはじめとして大変多くの方々に足をお運びいただくとともに、多大なるご協力を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

本年度の清陵祭では前年度からの取り組み、文化の部の前日から前夜祭イベントとしてカラオケ大会を企画して開催しました。この企画を通してクラスや各ブロック、部の仲間達とより一層団結することができていました。また、清陵祭当日に向けて大きく弾みをつけることにもつながり、大成功の企画となりました。

この清陵祭は生徒にとって高校生活での大きな思い出の1つであり、また自分たちで多くの事を考え、行動することで成長に繋げていくことができる場でもあります。そのためには保護者、地域の方々のお力添えが必要になる事も多くあると思います。年を重ねて一層盛り上げ、よりよいものにしていけるように努めてまいりますので、これからもよろしくお願いします。



渉外

「作陽高校の進むべき道～グランドデザイン～」

渉外部長

ふじい
藤井

たかひろ
崇広

<岡山県北・津山・全国から信頼される作陽の教育力でSakuyo Funを増やしたい>



県北の中学3年生の人数が前年度より約200名減少する中、平成25年度入学生対象の入試では、受験生が782名で、専願者が197名（前年度より専願者が3名増加）という結果となりました。平成25年4月、新入生224名、全校生徒627名で新年度のスタートを切ることができました。作陽の教育力を信頼していただいている、すべての方々のおかげだと感謝しております。

さて、今年度も少子化傾向は続きます。また、岡山県立高校の入試制度や出願方法の変更など、私学作陽の生徒募集を取り巻く環境は、より一層厳しいものとなっています。

しかし、渉外部では“それがどうした!”の精神で、入学した作陽生一人ひとりの笑顔と成長をバネに、Sakuyo Funを増やすための成功戦略を立て、一心不乱に行動に移しながら、より多くの新入生確保に邁進してまいります。

鎌倉幕府の執権であった北条時宗は、モンゴル帝国からの2度の元寇を退けることができました。結果的に日本の国難を救った英雄として評される時宗は、2度の元寇に悩まされた際、建長寺の僧であった無学祖元から「莫煩惱」とだけアドバイスを受けたそうです。つまり、“煩惱する勿れ、迷わず悩まず、ただ一心に目の前の課題に取り組み続ければ必ず好転する。”と説いたのです。また、祖元は、好機を感じたときこそ、“あせらず・くさらず・おごらず”の心構えで、全力を尽くし続けることと同時に、“長期にわたって遂行される大規模な計画や目標（グランドデザイン）を再構築し、明確にすることで無駄のない取組みとなり、継続的に成功・発展に寄与する”とも説いています。

少子化という逆境にある現在、新入生を増やすことが最優先であり重要な目標です。その上で、渉外部のグランドデザインの中に、ステップアップした生徒募集の要素を加えました。それは、今以上に「自利利他の精神で智慧の教育を受け、社会を正しく生き抜くことができる真の人間力やワンランク上の充実感と満足度を求め、将来の夢や目標を叶えたい…だから作陽に決める」という高い志を持つ新入生を増やしていくことです。5年後、10年後の作陽高校の進むべき道（グランドデザイン）を明確化し、教育環境を整え、教育の仕組みを創り上げることで、「どうしても作陽に入学したい」という生徒が集う魅力ある高校になるため、Revolution [改革] & Development [発展]にチャレンジしていきます。

日々挑戦し発展し続ける作陽高校にご期待ください。今後とも、皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



作陽Family [学園関係者・同窓生・保護者・在校生]のみなさまへ

受験は作陽、入学は作陽。
作陽高校にお任せください。

作陽高校渉外部 入試係
TEL0868-23-2188
FAX0868-24-7802
sakuyo@sakuyo-h.ed.jp

平成26年度
受験生
募集
中

心豊かで逞しい子ども達と共に前に向かって

くらしき作陽大学
附属幼稚園
副園長
妹島 三 絵



4月に開園致しました附属幼稚園も日を追うごとに落ち着いてまいりました。

園児たちは季節の行事をひとつずつ経験する毎に成長し、逞しい姿を見せてくれています。「明るく やさしく たくましく」をモットーに、毎日しっかり全身を使って運動遊びを行い、マット運動・跳び箱・鉄棒・平均台・平行棒・トンネルくぐり・トランポリン等の運動をしながら、体力づくりと体幹づくりをしています。

基本的生活習慣である毎日の朝と帰りの挨拶も、きちんと相手の目を見て「〇〇ちゃん、おはようございます。」「〇〇先生、おはようございます。」と、丁寧に挨拶が出来る様になり、可愛らしく心温まる挨拶にも子ども達の成長を感じています。

9月29日には記念すべき第1回運動会を行うことが出来ました。晴天にも恵まれ、保護者の方々やボランティアの学生

の方々に手伝いいただき、来賓の皆様からも温かい応援をいただきまして、皆様のご協力のもと、ささやかながらも元気いっぱい楽しい運動会を行う事が出来ました。感謝の気持ちで一杯でございます。

また、附属幼稚園の特色でもある大学との連携による食育も、給食を通して子ども達は様々な事を体験しながら楽しく学んでいます。健康な体づくりのために必要な食材を機会あるごとに担当の管理栄養士の先生から見せていただき、献立によっては下ごしらえの作業の一部を手伝わせていただいたり、旬の野菜を調理する前に見せていただいたり、色んな形で子ども達は参加しています。自分たちで植えて収穫した枝豆やさつま芋を給食でいただいたり、できた夏野菜を皆で分けて家に持ち帰ったりして、食べる事の大切さや楽しさを学んでいます。5月当初には食べられない物も多かった子ども達も、食育の経験と知識が増えるにつれて偏食も少しずつ減ってきて、季節の食材や地産地消の食材を美味しくいただけるようになってきています。

また、子ども達は5月から正課の保育の中でヴァイオリンを教えていただいています。小さな子供用のヴァイオリンを手にして子ども達は少し緊張しながらも嬉しそうにレッスンを受けています。ヴァイオリンの持ち方から丁寧に優しくご指導いただき、個人差はありますが、少しずつ音が出せるようになってきています。

これからも焦らず一歩ずつ丁寧に歩んでまいります。大切な子ども達の健康な体と豊かでしなやかな心を育てるべく、なお一層努力し精進してまいります。

どうぞ今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



鶴声会だより

鶴声会会長 井端 豊実



10月から同窓会に卒業生から教員採用試験に合格しましたと、京都府、兵庫県、北九州市、熊本県など全国から嬉しいニュースが届いています。現役の在学生の合格については大学から毎日のように嬉しい発表が発信されていますが、多くの卒業生もこれに負けじと頑張っています。

私事にはなりますが、作陽音楽大学を卒業し、北九州の地で音楽教諭として音楽の指導、吹奏楽部に携わり多くのご縁に恵まれ、平成25年10月に福岡県民文化祭開会式典にて、福岡県地域文化功労者表彰を受賞しました。この受賞に際して理事長を始め多くの皆様から多くのお祝いのお言葉をいただいたことに感謝するとともに、この受賞はみなさまのおかげと感謝申し上げます。

また同窓会ホームページがリニューアルされたこともあり、

同窓会ホームページの内容も充実させていきたいと思いますので、演奏会・コンクール受賞や同期会等の情報を同窓会事務局までお寄せいただけますようお願いいたします。同窓会ホームページにて紹介させていただきます。

今後とも鶴声会活動への協力を賜りますようお願い申し上げます。

演奏会・コンクール受賞・同期会等の連絡先

くらしき作陽大学同窓会 鶴声会 事務局

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

TEL : 086-523-0888

FAX : 086-523-0111

E-mail : katayama@ksu.ac.jp

翠会だより

平成25年度作陽短期大学・作陽音楽短期大学同窓会(翠会)総会並びに懇親会開催

去る、11月9日(土)メルパルク岡山に於いて、平成25年度作陽短期大学・作陽音楽短期大学同窓会(翠会)総会並びに懇親会が開催されました。今回も前回に引き続き、約120名の卒業生が岡山県内はもとより遠くは沖縄県からの参加、また、家政科1期生(S28年卒業)の方の参加もあり、盛会のうちに終了することができました。

総会では、4期8年という長きに渡って翠会の運営にご尽力いただきました石原昌子さんから、今年度より元吉恵子さんに会長が引き継がれ、元吉新会長の挨拶では「石原前会長がこれまで築かれたこの翠会を、微力ながら全力で発展させていきたい。」との力強い言葉がありました。

総会終了後には、音楽学科の卒業生と在学生の4名による「歌とダンスのミニコンサート」が行われ、短い時間でしたが、美しい歌

声にしばし聴き入りました。

また、懇親会では、松田学長を始め、お忙しいところお出でくださいました多くの先生方には、心より御礼申し上げます。次回は2年後に開催予定です。次回開催の際も、今回に増して多くの卒業生の皆さんの参加をお待ちしております。

なお、最後になりますが、卒業生みなさまには今後とも引き続き、短期大学同窓会翠会への変わらぬご支援とご協力を宜しくお願いいたします。



作陽高校同窓会だより

報恩感謝の年

高校同窓会副会長 山下 亨



共学50周年記念品の贈呈

11月16日(土)には関西支部(神戸地区)同窓会(下谷支部長)、11月24日(日)には関東支部同窓会(石堂支部長)が開催され、いずれにも松田英毅学園長のご臨席を賜り同窓生友愛の懇親を深めることができました。関西支部では津山女子高等技芸学校や女子高校の卒業生が多数参加して故松田藤子先生の思い出話などで楽しいひとときを過ごしました。関東支部同窓会は東京ディズニーランド(舞浜)の一角に会場を設けて開催され、高校時代の思い出話やお互いの現況の交換など愉快地に過ごしました。

ところで、「松田藤子先生の教え(仮称)」について本誌「作陽学園報」で投稿募集をしておりましたが、松田藤子先生の思想(著作)や投稿文集などを盛り込んだ本が来春には発刊の運びになる予定です。

ご生前の松田藤子先生は卒業生の活躍を殊のほか気にかけておられました。「文集編」では、卒業生たちが藤子先生から学んだ尊い教えによってその人生をいかに豊かに感動的に送ってきたかをうかがい知ることができます。是非ご期待ください。

平成25年は男女共学50周年の節目の年。高校同窓会(本部)はこれを記念した総会・懇親会を8月17日(土)に開催しました。共学をスタートさせるに当たっては、松田藤子校長先生のご英断により、限られた時間の中で数人の先生方が男子生徒の入校と生徒数の激増に備えた教育環境や施設設備等の数多くの困難な仕事に取り組まれたと聞いております。総会につづく懇親会では、その当時の先生や同窓会を支えた役員の方々11名に玉置同窓会長から感謝の気持ちを込めて記念品(時計)を贈呈させていただきました。



関西支部(神戸)の懇親会



関東支部の懇親会

在学生の声

くらしき作陽大学 音楽学部・食文化学部・子ども教育学部の在学生に、作陽で学んでいることやこれからの目標についてインタビューしました。

音楽学部



野島 香菜

広島県 広島大学附属福山高等学校 出身

ピアノ専修/4年

ロシア人の先生から指導を受けられることは大きな特色です。

高校時代に作陽でプレカレッジのレッスンを受講。その際にロシア人の先生に教えてもらっていたのが進学のきっかけです。週2回のレッスンに加えて伴奏法、室内楽の授業も充実しています。卒業後はオペラ伴奏など幅広く学びたいと思っています。

食文化学部



高木 鮎美

岡山県立総社高等学校 出身

栄養学科/4年

知識だけでなく管理栄養士として実践的な力も磨いています。

調理実習を始めとする様々な実習や講義を受け、充実した時間を過ごしてきました。知識だけでなく、管理栄養士としての心構えや対象者の命を預かる責任感を学ぶことができました。4月からは大学で学んだことを活かし、管理栄養士として働く予定です。

子ども教育学部



中野 広大

大分県立中津南高等学校 出身

子ども教育学科/4年

同志と夢や憧れを追究した4年間

附属児童文化部『ばれっと』での同志との協働活動を通じて、「物事を追究する楽しさ」「自分と向き合う難しさ」「人と共に生きるよさ」を学びました。来春からは、小学校教諭として長野県の子どもの「夢」を育てていけるように頑張ります。

入試広報室 NEWS

平成 26 年度から『長期履修学生制度』が始まります！

『長期履修学生制度』とは、修業年限を超えて履修し学位等を取得できる制度です。なお、当該期間は留年や休学として扱われることはありません。

「くらしき作陽大学 音楽学部」「大学院」「作陽音楽短期大学 音楽学科」では、平成 26 年から次のとおり『長期履修学生制度』を導入します。

例えば修業期間を

- ・「くらしき作陽大学 音楽学部」は 4 年から 6 年
- ・「大学院」と「作陽音楽短期大学 音楽学科」は 2 年から 3 年へと変更でき、自分のペースで計画的に演奏技術などじっくり時間をかけて学ぶことが可能になります。

また、「くらしき作陽大学 音楽学部」では 4 年間の学費を 6 年で納入、「大学院」と「作陽音楽短期大学 音楽学科」では 2 年間の学費を 3 年で納入するため、年間の学費納入額を抑えることで経済的負担を軽減することができます。経済的理由から進学が難しいと思っている方や、職業を有している等の事情のある方にもお考えいただきたい制度です。

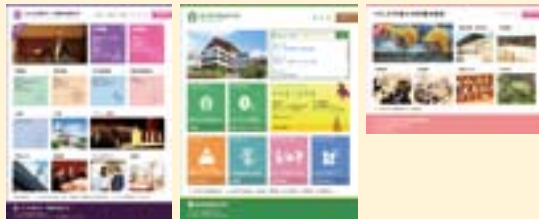
【学費モデルケース】くらしき作陽大学 音楽学部		
4年次	4年分の学費で 6年間学べます ※委託徴収金は除く	4年次（6年目）
3年次		4年次（5年目）
2年次		4年次
1年次		3年次
入学金		2年次
		1年次
		入学金

※委託徴収金は除きます。
※入学金は初年度に納入となります。

詳しくは、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 入試広報室までお問い合わせください。

作陽学園ホームページリニューアル

くらしき作陽大学 検索



SAKUYOオリジナルグッズ販売決定



※写真はイメージです。

第 1 弾「トートバック」

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学のオープンキャンパスや受験講習会で、参加者のみに配布している SAKUYO オリジナルグッズを、平成 26 年 5 月頃より販売予定です。第 1 弾はオープンキャンパスで大好評だった「トートバック」！

今後の SAKUYO オリジナルグッズの販売も企画中です。ご期待ください！

お問い合わせ先

くらしき作陽大学 作陽音楽短期大学

入試広報室 0120-911-394

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾 3515

E-mail : nyushi.sakuyo@ksu.ac.jp



くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の教育目的

■ くらしき作陽大学 の目的

本学は教育基本法および学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎の上に 4 年の音楽、食文化又は子ども教育に関する大学教育を施し、良き社会人を育成することを目的とし、宗教的情操教育を施して信念と道義心とを涵養し、以て大学教育の普及と地域文化の向上とを図ることを使命とする。

【音楽学部の目的】

建学の精神に基づく人格教育とともに、音楽および音楽に関わる専門教育の研鑽と地域文化振興活動を通して、文化立国日本に貢献できる人材を養成する。

- ・音楽学科の目的：高度な技術と豊かな感性を持つ、社会性ある音楽家を育成する。

【食文化学部の目的】

建学の精神に基づき、思いやりのある人間性豊かな学生を育成することを基本に、食に関する高い専門性を身につけさせるとともに、地域における食文化の拠点となることを目指す。

- ・現代食文化学科の目的：食を総合的に学修した、食文化に強い栄養士・教員（家庭科）を養成すると同時に、食と健康に関する学際的な教育と研究を通して地域社会に貢献する。
- ・栄養学科の目的：食を通して健全な未来社会を築くために貢献できる人間性豊かな管理栄養士を養成する。

【子ども教育学部の目的】

- ・子ども教育学科の目的：心豊かな人間教育をベースに理論的・応用的及び実践的な教育研究を行い現代社会に要請される高度な専門的能力を踏まえた保育、教育、及び子育て支援等に従事する人材を養成する。

【大学院音楽研究科の目的】

広い視野に立って音楽に関する清深な学識を授け、地域の音楽文化の向上に貢献することのできる高度な専門性を有する人材を養成することを目的とする。

■ 作陽音楽短期大学 の目的

本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎の上に、2 年の音楽に関する大学教育を施し、良き社会人を育成することを目的とし、宗教的情操教育を施して信念と道義心とを涵養し、以て大学教育の普及と地方文化の向上とを図ることを使命とする。

【音楽学科の目的】

地域社会に貢献できる良き音楽人を育成するために、音楽の広範な基礎力と人間性を磨く。

12月

December 2013

- 1日(日)** (開演)14:00 **第41回作陽パーカッショングループコンサート**
■ラヴェル/ボレロ、ビゼー/組曲「カルメン」より 他
■会場：藤花楽堂 ■入場料：800円
- 4日(水)** (開演)19:00 **2013作陽ファカルティコンサートⅢ 第36回作品のタベ**
■本学作曲理論担当教員による作品発表演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：一般2,000円・高校生以下無料
- 10日(火)** (開演)18:45 **副科吹奏楽研究発表会**
■副科器楽を学んでいる学生による吹奏楽演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 12日(木)** (開演)19:00 **2013作陽ファカルティコンサートⅣ 重利和徳/ピアノリサイタル**
■ベートーヴェン/ソナタ第15番ニ長調Op. 28「田園」、シューマン/幻想曲ハ長調Op. 17 他
■会場：藤花楽堂 ■入場料：一般2,000円・高校生以下無料
- 18日(水)** (開演)18:45 **コーラルコンサート**
■合唱履修生による研究発表会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 21日(土)** (開演)14:00 **第26回日本伝統芸能・邦楽演奏会 さくよう歌舞座**
■日本伝統芸能専修生による演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 23日(月)** (開演)19:00 **くらしき作陽大学ウインドフィルハーモニー演奏会in倉敷**
■C. サンニ サーンズ/大行進曲「東洋と西洋」作品 25 他、指揮：小林恵子
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 25日(水)** (開演)14:00 **くらしき作陽大学ウインドフィルハーモニー演奏会in島根**
■C. サンニ サーンズ/大行進曲「東洋と西洋」作品 25 他、指揮：小林恵子
■会場：島根県民会館 ■入場料：500円

1月

January 2014

- 9日(木)** (開演)19:00 **作陽ファカルティコンサートⅤ 森悠子「モーツァルトのタベ」**
■モーツァルト/ヴァイオリン ソナタK.378 B-Dur、オーボエ四重奏曲K.370 F-Dur、クラリネット五重奏曲K.581 A-Dur
■会場：藤花楽堂 ■入場料：一般2,000円・高校生以下無料
- 11日(土)** (開演)14:00 **金管室内楽研究発表会**
■BOZZA / SONATINE、R.Premru / Divertimento 他
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 15日(水)** (開演)18:45 **シンフォニックバンド研究発表会**
■吹奏楽履修生による吹奏楽研究発表会
■指揮：長瀬敏和
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 21日(火)** (開演)18:45 **ピアノ伴奏演習(短大)後期発表会**
■ピアノ伴奏演習履修生によるアンサンブルやソリストとの共演
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 21日(火)** (開演)18:45 **金管合奏研究発表会**
■P.スバーク/ジビリー序曲、月とメキシコのはざまに 他
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 22日(水)** (開演)18:45 **ピアノ伴奏演習(大学)後期発表会**
■ピアノ伴奏演習履修生によるアンサンブルやソリストとの共演
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 22日(水)** (開演)18:45 **モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会Ⅳ**
■音楽学部モスクワ音楽院特別演奏コースの学生による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 24日(金)** (開演)18:45 **MILESTONE CONCERT 冬Ver.**
■室内楽履修生によるピアノアンサンブル
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 24日(金)** (開演)18:45 **室内楽研究発表会(弦楽)**
■弦楽器生による室内楽研究発表会
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 24日(金)** (開演)18:45 **第8回音楽デザイン専修作品発表会「ミライヘノトビラ」**
■音楽デザイン専修生によるオリジナル音楽DVD作品発表会
■会場：藤花楽堂スタジオ ■入場料：無料
- 25日(土)** (開演)14:00 **2013作陽ファカルティコンサートⅥ 菅付章宏「オーボエ室内楽のタベ」**
■ライネック/ObとHr、Pfrのためのトリオ、ドメルスマン/Fr、Ob、Pfrによるウィリアムテルの主題による変奏 他
■会場：聖徳殿 ■入場料：一般2,000円・高校生以下無料
- 26日(日)** (開演)14:00 **カーセイジ大学&くらしき作陽大学 ウインドフィルハーモニー合同演奏会**
■カーセイジ大学日本公演に際し、作陽ウインドフィルハーモニーと合同演奏会
■指揮：J. リブリー、小林恵子
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 28日(火)** (開演)18:45 **室内楽研究発表会(Sax)**
■サクソフォン専攻生による室内楽研究発表会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 29日(水)** (開演)18:45 **室内楽研究発表会(ピアノデュオ)**
■室内楽(ピアノデュオ)履修生による研究発表会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料

演奏会・公開講座等のご案内

Kurashiki Sakuyo University Faculty of Music
The Department of Music The Department of Music EducationSakuyo Junior College of Music
The Department of Music

2月

February 2014

- 8日(土)** (開演)14:00 **作陽ユーフォニアム・チューバアンサンブルコンサート**
■展覧会の絵 他
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 11日(火)** (開演)15:30 **オペラ・重唱後期発表会**
■Così fan tutte, Il Trovatore, Lelisir Damore 抜粋 他
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 13日(木)** (開演)14:00 **大学院ハーフリサイタル**
■大学院一年次によるハーフリサイタル
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 14日(金)** (開演)14:00 **大学院ハーフリサイタル**
■大学院一年次によるハーフリサイタル
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 14日(金)** (開演)18:45 **クラリネットアンサンブル**
■クラリネット四重奏〜十二重奏まで多彩なコンサート
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 16日(日)** (開演)14:00 **作陽音楽短期大学 吹奏楽演奏会**
■作陽音楽短期大学在学生及びOBによる吹奏楽演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 18日(火)** (開演)18:45 **木管室内楽研究発表会**
■木管五重奏〜八重奏までの多彩な構成による研究発表会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 21日(金)** (開演)未定 **大学院 修了演奏会**
■大学院生による修了演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 22日(土)** (開演)未定 **大学院 修了演奏会**
■大学院生による修了演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 22日(土)** (開演)14:00 **作陽ユーフォニアムアンサンブルコンサート**
■ユーフォニアム専攻生によるアンサンブルコンサート
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 23日(日)** (開演)未定 **大学院 修了演奏会**
■大学院生による修了演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 23日(日)** (開演)15:00 **第18回作陽ホルンアンサンブル定期演奏会**
■ホルン専攻生によるアンサンブルコンサート
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料

3月

March 2014

- 2日(日)** (開演)13:30 **第11回音楽のたね音楽会**
■会場参加型の音楽会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 3日(月)** (開演)18:00 **第22回作陽トロンボーンアンサンブル演奏会**
■続・国分寺、Let's Bones March
■会場：ルネスホール ■入場料：500円(当日300円増)
- 8日(土)** (開演)17:00 **ALL☆STAR Brass Band第15回定期演奏会**
■英国式金管バンドの演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 9日(日)** (開演)14:00 **オーボエアンサンブルコンサート**
■オーボエ工属のアンサンブル曲、大編成、小編成によるコンサート
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 14日(金)** (開演)13:00 **平成25年度卒業・修了演奏会**
■本年度音楽学部、作陽音楽短期大学を卒業・修了する成績優秀者による演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 15日(土)** (開演)13:00 **平成25年度卒業・修了演奏会**
■本年度音楽学部、作陽音楽短期大学を卒業・修了する成績優秀者による演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 16日(日)** (開演)13:00 **平成25年度卒業・修了演奏会**
■本年度音楽学部、作陽音楽短期大学を卒業・修了する成績優秀者による演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料

都合により日程、出演者等、内容が変更になる場合がございます。
最新情報はお電話又は大学ホームページにてご確認ください。

《お問い合わせ先》

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

演奏芸術センター086-523-0822 FAX.086-436-0283
〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515 E-mail sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp

http://www.ksu.ac.jp/

くらしき作陽大学

検索



メールマガジン配信開始!

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の QRコードで簡単登録!

演奏会・公開講座等の最新のイベント情報やお得な情報をいち早くお届けします。

SAKUYOメルマガ会員募集中

PCからはこちら! https://j.blany.jp/bm/p/f/tf.php?id=sakuyokikaku



◎ 気になる施設の見学や体験授業で、大学の雰囲気を知らるチャンス

Open Campus 2014

春のオープンキャンパス

3/26 [水] 13:00~16:00 **要予約**

資料請求・お問い合わせは



0120-911-394



nyushi.sakuyo@ksu.ac.jp



くらしき作陽大学

検索

HPリニューアル!



入試日程

※詳しくは本学ホームページをご覧ください。

一般Ⅰ期入試

出願期間 **1/6** [月] ~ **1/24** [金]

試験日

◎音楽学部/音楽短期大学

2/1 [土] ~ **2** [日]

◎食文化学部/子ども教育学部

2/1 [土] ・ **2** [日]

一般Ⅱ期入試

出願期間

◎音楽学部/音楽短期大学

2/24 [月] ~ **3/7** [金]

◎食文化学部/子ども教育学部

2/10 [月] ~ **2/21** [金]

試験日

◎音楽学部/音楽短期大学

3/17 [月] ~ **18** [火]

◎食文化学部/子ども教育学部

2/27 [木]

センター利用Ⅰ期、Ⅱ期入試

(食文化学部・子ども教育学部のみ)

出願期間

◎Ⅰ期

1/13 [月・祝] ~ **2/10** [月]

◎Ⅱ期

2/24 [月] ~ **3/14** [金]

試験日

個別試験は課しません

くらしき作陽大学

作陽音楽短期大学

平成26年度作陽高校入試について

～今年度は、多くの受験生・入学生を募集しています～

一般入試を選択する場合

県立高校入試問題準拠
同レベルの学力検査です

面接入試を選択する場合

中学校でのがんばりと
個性と可能性を重視します

専願希望者への優遇

作陽高校で夢を叶える
あなたの気持ちを重視します

各種奨学生制度の充実

保護者の皆様の
経済的負担を軽減します

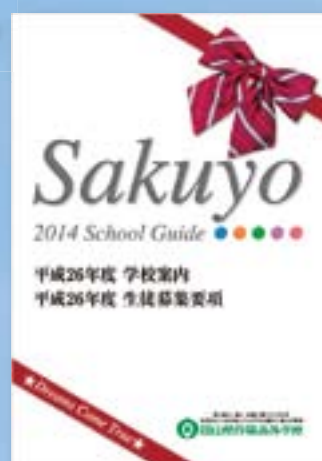
個別進学相談実施中

お気軽に作陽高校渉外部
までお問い合わせください

1次入試全日程のご紹介

■出願期間 平成26年1月22日(水)～1月24日(金)

■試験日 2月4日(火)AM8:40～ ■合格発表 2月10日(月)



TEL 0868-23-2188
FAX 0868-24-7802
sakuyo@sakuyo-h.ed.jp
http://sakuyo-h.ed.jp

詳しくは、平成26年度生徒募集要項をご覧ください。

学園報に関するお問い合わせは

作陽学園事務局

学園報担当(企画係)

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515
tel 086-523-0822 / fax 086-436-0283
Eメール sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp